

# THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

Vol.28, No.1 / December 2023

## Remark

Requirements to become a psychodramatist.....Atsuko Ishikawa... 1

## Practice Studies

Effects and Considerations for Dialogue between the Audience

-Reflecting in Psychodrama.....Kiyoko Inoue... 3

## Brief Communications

The practice of a stress management program with action method.....Reiko Shibata...15

## Academic conference report

Purpose of the project.....Hiroyuki Yamato...23

Report of the project.....Hiroyuki Yamato...25

## Psychodrama and Open dialogue

Speakers from Open Dialogue

Why Dr. Hajime Mashino says "Open Dialogue is Psychodrama".....Ayako Tokou...29

Speakers from Psychodrama

Comment on Refracting and Role Reversal.....Akemi Tsuchiya...35

Psychodrama (role-playing) in open dialogues as seen from

-Dialogue drama seen in the symposium.....Gaku Tokita...39

Congress chairman Speech.....Hiroyuki Yamato...41

Book Exploration.....Masumi miyagawa...45

## Memorial Writing

In memory of Prof. Toshio Utena .....Makiko shimatani...53

Psychodrama: A Gift from Toshio Utena.....Hiroko Ibaragi...55

Master of my heart -Shinnosuke Kaneko.....Kenji Moroe...57

Information.....59

Announcement.....65

Edited and Published by

Japan psychodrama Association

(8-6 Rokutancho Higashimatsuyama Saitama 355-0023 Japan)

President : Motonori Yokoyama (Sapporo Ekimae Clinic)

Editor : Kenji Moroe

Editorial Comitee : Noriko Chikamatsu, Kiyoko Inoue, Yukiko Kanzo,

Masamichi Kawahata, Masumi Miyagawa, Hiroyuki Yamato, Yuko Takimoto

心理劇

第二十八卷  
第一号二〇二三年  
(令和五年十二月一日)

日本心理劇学会

# 心理劇

THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

第28卷 第1号 / 令和5年12月1日 Vol.28, No.1, December 2023

## 巻頭言

サイコドラマティストになるための条件.....石川 淳子... 1

## 実践報告

『観客の雑談』の効果と留意点—ドラマの中のリフレクティング—.....井上 清子... 3

## 短報

アクションメソッドを用いたストレスマネジメント・プログラムの実践.....柴田 礼子...15

## 大会特集

大会企画主旨.....山登 敬之...23

大会企画「サイコドラマとオープンダイアログ」.....山登 敬之...25

## 大会企画 「サイコドラマとオープンダイアログ」

「オープンダイアログはサイコドラマ」と、なぜ増野肇先生は言ったのか? .....都甲 絢子...29

リフレクティングと役割交換について.....土屋 明美...35

サイコドラマ(ロール・プレイング)から見たオープンダイアログについて

—シンポジウムから見た対話劇の風景—.....時田 学...39

## 大会長講演

サイコの知とドラマの血.....山登 敬之...41

## 文献探訪

学会誌への掲載論文に関する報告.....宮川萬寿美...45

## 追悼

台利夫先生を偲んで.....島谷まき子...53

台利夫先生からの贈りもの：心理劇.....茨木 博子...55

金子進之助先生.....諸江 健二...57

## 情報

日本臨床心理劇学会第48回長崎大会印象記.....横山 太範...59

日本関係学会第45回大会報告.....吉川 晴美...61

第27回SST全国経験交流ワークショップ2022@近畿 報告.....瀧本 優子...63

## 会報

.....65

日本心理劇学会

JAPAN PSYCHODRAMA ASSOCIATION

## 執筆要項

- 論文の内容として、以下の事項を遵守すること。
  - 調査研究を行う場合は、調査協力者に事前にインフォームド・コンセント（説明と同意）の手続きを取っておくこと。
  - 事例研究や面接調査（インタビュー）の場合は、対象者または調査協力者から同意の署名を取らなければならない。また、論文に記載する情報は必要最低限としてプライバシーに十分配慮しなければならない。関係機関に倫理委員会がある場合は、承認を得ていること、およびこうした倫理面への配慮を論文中に明記すること。
  - 「心理劇」の誌上に掲載される投稿論文は未発表のものであること。他の学術誌や大学等の紀要にすでに投稿したものと類似した論文や、本来は一つであるべき研究内容を幾つかに分けて「心理劇」に継時的に、あるいは他の学術誌に投稿することは二重投稿となるので投稿できないこと。
- 論文の内容は未公開のものに限る。事例提示の場合は、記載する情報は必要最小限とし、プライバシーに十分配慮すること。
- 論文の長さは、原則として原著・総説・事例研究・実践報告・資料は図、表、写真を含めてA4判（40字×40行）用紙11枚、短報・その他は8枚を上限とする。上限を超えても掲載が認められることがあるが、その場合は原則として超過分の制作費は投稿者の負担とする。
- 原稿は横書きで、原則として常用漢字・現代かなづかいを用い、数字は算用数字を用いること。図、表、写真は必要最小限にして別紙に書き、本文中にその挿入箇所を明示すること。本文にはページ数をつけること。
- すべての投稿論文には、表題、著者名、所属機関名、論文の種別、連絡先住所、電話番号、Eメールアドレスを記載し、かつ表題、著者名、所属機関名については英語表記を添え、本文に添付する。原著および事例研究には、英文要約を必須とする。英文要約は100～200語で作成し、5項目以内のキー・ワードをつけること。英文要約およびキー・ワードについては日本語訳を添えること。英文は英語の専門家の校閲を経ていること。
- 外国人名、地名に原語を用いる以外には、記述中の外国語になるべく訳語をつけること。
- 引用文献は本文の最後に著者名のアルファベット順に一括して記載し、本文中では、著者名（発行年）で引用すること。
  - 文献の記述形式は、雑誌の場合は、著者名、公刊年度（西暦）、論題、誌名、巻（ゴチック）、号、記載頁の順序による。単行本の場合は、著者名、発行年度（西暦）、書名、発行所の順とする。ただし編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は、該当執筆者名を筆頭にあげ、以下発行年度、編者名、書名、発行所の順とする。
  - 同一著者で2種以上の文献がある場合には発行年度順とし、さらに同年度に同一人の2種以上の文献がある場合には1990a、1990bのように区別して記載すること。
- 校正は、初校を著者、再校以降は編集委員会で行う。
- 投稿論文については、執筆者に別刷り20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
- 本誌に掲載された論文の原稿は、原則として返還しない。
- 投稿に際しては、投稿原稿とは別に、著者名、所属機関名、謝辞を削除したコピー2部を添え、書留郵便（レターパック可）にて編集委員会宛に送付すること。郵送とは別に、投稿原稿をEメールの添付ファイルとして送ること。
- 日本学術振興会「科学の健全な発展のために」（研修テキスト）の主旨・内容にのっとり、研究倫理に関する配慮を十分に言い投稿すること。

### 編集委員

委員長：諸江 健二

副委員長：山登 敬之

委員：井上 清子、神蔵 幸子、瀧本 優子、近松 典子、宮川萬寿美

協力委員：川幡 政道

### 編集規定

- 本誌は日本心理劇学会の機関誌として年1巻発行する。
- 本誌は、原則として本学会会員の心理劇に関する論文の発表にあてる。ただし、非会員からの投稿論文で本学会に寄与するものは、掲載が認められることもある。
- 本誌には、特集、原著、総説、事例研究、実践報告、短報、資料のほか書評、海外文献紹介、情報、会報などの欄をもうける。
- 特集、書評欄は、原則として編集委員会の指定した依頼原稿によって構成する。
- 原著論文は、心理劇あるいはその関連領域における未公開の独自性ある論文で、学術的考察のなされているものとする。
- 総説は、心理劇あるいはその関連領域における特定の主題についての学問的動向を見渡し、著者独自の論考がなされている論文とする。
- 事例研究は、心理劇あるいはその関連領域の臨床・実践活動における事例について考察のなされている論文とする。
- 実践報告は、心理劇あるいはその関連領域の臨床・実践活動で得た知識、経験、成果などを報告する論文とする。
- 短報は、心理劇あるいはその関連領域における萌芽的研究で、今後発展が期待できる研究を手短にまとめたものとする。
- 資料は、心理劇あるいはその関連領域における掲載する意義があると考えられる実践、調査、事例、理論等に関するリポートとする。
- その他必要に応じ、編集委員会での検討により論文の種類を新たに設定することがある。
- 投稿論文は編集委員会によって審査され、その掲載の可否が決定される。なお、編集委員会は、会員もしくは会員外に審査協力を依頼することがある。
- 本誌の編集は、編集委員会の責任のもとに行われる。
- 原稿の印刷に特に費用を要するものは、執筆者の負担とする。
- 本誌に掲載された記事の著作権は、日本心理劇学会に帰属する。著者本人を除き日本心理劇学会の許可なく記事を複製および転載することはできない。

---

心 理 劇 第28巻 第1号 （編集）日本心理劇学会編集委員会

2023（令和5）年12月1日発行

〒810-0035 福岡市中央区梅光園2-23-1  
アンジェ心療クリニック内編集委員会  
E-mail ange@kjf.biglobe.ne.jp

（発行）日本心理劇学会

（事務局）〒355-0023 埼玉県東松山市六反町8-6  
E-mail shinrigeki.gakkai@gmail.com

製作 公益社団法人やどかりの里 やどかり印刷

〒337-0026 さいたま市見沼区染谷1177-4

---